

未利用資源（廃食油）活用に係るワーキンググループ の設置について

令和5年11月22日
産業技術政策課

1. 背景・趣旨

- 県では、「サーキュラーエコノミー」の考えをいち早く取り入れ、地域の特性を踏まえた産業創出や広域的な資源循環ネットワークの構築を目指すため、本年6月に「わかやま資源自律経済ビジョン検討会」を設置し、検討会での議論を踏まえ、10月に「わかやま資源自律経済ビジョン」をとりまとめ、公表した。
- 本ビジョンの実現に向けた取組の第一弾として、一般廃棄物として廃棄されている家庭用廃食油を回収し、SAF（持続可能な航空燃料）等の原料へと資源化・利活用する仕組みの構築を目指すべく、来年度、家庭用廃食油の回収実証の実施を予定している。
- そのため、実証の実施に向けて、回収スキームや検証ポイントについて、県内の自治体や小売事業者、回収事業者など関係事業者の視点を取り入れて実証内容を決定すべく、本ワーキンググループを設置する。

2. ワーキンググループの進め方

- 会議は、原則として非公開で行う。
- 配布資料の取扱いについては、原則公開とし、メンバー等からの提供資料については、事務局が資料提供者と相談して決定する。
- 検討会に係る事務は、和歌山県産業技術政策課が事務局として行う。

3. 想定スケジュール

- 第1回：令和5年11月22日
WG 設置の背景・目的、廃食油回収のイメージ、回収方法に係る論点
- 第2回：年明け調整中
収集・運搬および県民への普及・啓発に係る論点
- 第3回：年度内予定
効果検証に係る論点、実証内容案